

■ 津高公民館主催 馬屋上小学校周辺「セミのぬけがら調査」---3回目

◇ 2026年08月02日(日)・AM9:00~10:05 (採集: 9:15~9:30の15 分間) : 気温: 30.8℃ (AM9:00)
◇ 場所: 岡山市北区富吉 「馬屋上小学校とその周辺」 ◇ 標高: 155.3m ◇ 天候: 晴れ
◇ 作業者名: 参加ご家族6家族18名・スタッフ3名 計21名 ◇ 講師・記録: 山田 勝

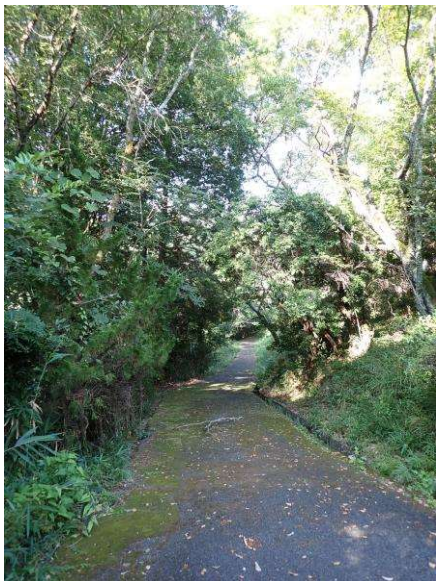
◇ 採取したぬけがら: 計2種確認 ※2024-08.04確認数

種 名	岡山県内の分布			出現期 (岡山県)	合計個体数	オス数		メス数	全体の割合 (%)	備 考
	北部	中部	南部							
クマゼミ	－	＋	○	7月中旬～ 9月中旬						
ヒメハルゼミ	＋	－	－	6月下旬～ 8月上旬						
アブラゼミ	＋	○	○	7月中旬～ 9月下旬	107 (38)	27 (15)	80 (23)	95.0%		
ツクツクボウシ	○	○	○	7月下旬～ 10月上旬	(1)	(1)	(－)			
ミンミンゼミ	○	○	＋	7月中旬～ 10月上旬						
ニイニイゼミ	＋	○	○	6月末～ 9月中旬	6 (1)	※性比の判断が困難		5.0%		・殻に泥が付着  ※乾燥から身を守るためか
ヒグラシ	○	○	＋	7月～ 9月上旬						・カナカナゼミ とも言う。
エゾハルゼミ	＋	－	－	5月中旬～ 7月末						
ハルゼミ	＋	○	○	4月下旬～ 6月末～						
コエソゼミ	＋	－	－	7月上旬～ 8月末						
アカエソゼミ	＋	－	－	7月中旬～ 9月中旬						
エソゼミ	＋	＋	－	7月中旬～ 9月中旬						
チッチゼミ	＋	＋	＋	7月中旬～ 10月下旬						・マツ林へ
総合計 (個体)				2種	113 (40)	27 (16)	80 (23)	100%		

- 23%70%
- クマゼミは地球温暖化に伴って、分布域を徐々に北へ拡げているが今回、クマゼミの確認はなかった。
 - クマゼミは奇数年に多く出現し、偶数年には少ないという言う周期説もあり興味深い。
 - 従来から身近なセミとして親しまれてきたアブラゼミは107個体（全体の95.0%）で、優占種であった。
2024年8月4日は、わずか38個体であったが、今回107個体と大幅に個体数が増えた。
 - ツクツクボウシは今回は確認されなかった。
 - ニイニイゼミはわずか6個体のみ確認された（羽化殻には泥がついていて乾燥から身を守るとされている）。
 - ◆ツクツクボウシの鳴き方---「オーシツクツク オーシツクツク」と繰り返すが、
夏の終わりには、「シュクダイヤッタカ シュクダイヤッタカ ハヨセーヨ ハヨセーヨ」とも----

◇その他観察した生き物: ジョロウグモ・ハグロトンボ・マユタテアカネ・ツクツクボウシ (声)
ニイニイゼミの (声)・キタキチョウ・ヤマトシジミ・ニホンカナヘビ・テンの糞
(植物): ミツバアケビの果実・イヌビワの果実

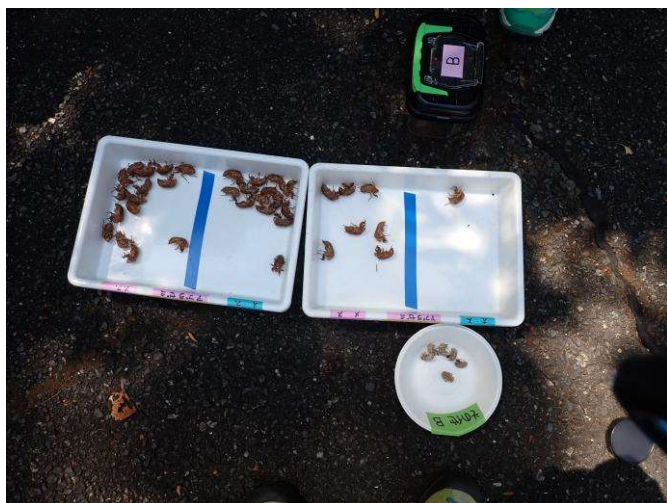
■ 画像での記録



：馬屋上小学校南：採取場所



：左：クマゼミ（中肢の下に突起） 右：アブラゼミ（突起はない）



：採取した羽化殻の一部



：アブラゼミの羽化殻



：マユタテアカネ



：虫こぶ（クヌギハマルタマフシ）

以上